

専門解説

自律型組織へのチェンジマネジメント

3つの原則と7つのアプローチで変革に挑む

ペネトラ・コンサルティング株式会社 代表取締役 安澤 武郎

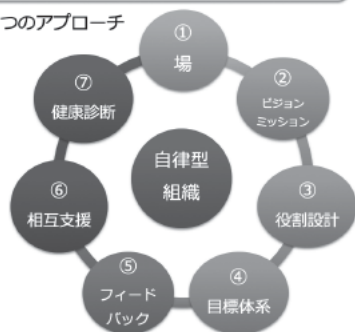
■本稿では、「自律型組織とは何か?」「自律とは何か?」「どうして自律性を失うのか?」という本質、考え方を共有したうえで、自律性を失った組織からどのように自律型組織に転換させていくとよいか?という方法論(3つの原則と7つのアプローチ)を説いていきます。読者の皆様の組織改革の一助になれば幸いです。

(1) 組織はなぜ自律性を失うのか? 組織ライフサイクルの観点で俯瞰する

(2) 自律型組織を構築する3つの原則

原則①: 自律とは何か? 脱外的コントロール
原則②: 人の問題ではなく組織の問題と捉える
原則③: 脱外的コントロールに必要な条件 ~「共同体感覚」

(3) 自律型組織を構築する7つのアプローチ



目次

(1) 組織はなぜ自律性を失うのか?

■組織ライフサイクルの観点で俯瞰する

(2) 自律型組織を構築する3つの原則

■原則① 自律とは何か? 脱外的コントロール

■原則② 人の問題ではなく組織の問題と捉える

■原則③ 脱外的コントロールに必要な条件

~「共同体感覚」

(3) 自律型組織を構築する7つのアプローチ

■アプローチ① 場をほぐす

■アプローチ② 目的を再構築する

■アプローチ③ 役割を設計する

■アプローチ④ 目標を体系にする

■アプローチ⑤ フィードバックサイクルを回す

■アプローチ⑥ 相互支援ネットワークを築く

■アプローチ⑦ 組織の健康度を診断する

■まとめ



●安澤 武郎 (やすざわ たけろう)

<https://penetra.jp/>

1998年に京都大学工学部卒業後、鹿島建設に勤務。大学時代はアメリカンフットボールで2年連続日本一に貢献。個人としても、鹿島建設時代までを含め、オールジャパンに4度選出されている。その後、「実行力支援」に特化した経営コンサルティングファームにて事業変革手法を習得。2012年にペネトラ・コンサルティング株式会社を設立。

「アメリカンフットボール部での組織づくり(スポーツ推薦のない国立大学チームで日本一)」「外部コンサルタントとしての短期的な成果創出支援」「企業内部の変革推進責任者としての事業変革」「同一企業での10年にわたる組織変革活動の展開(経営者の世代交代を跨いで継続的に推進)」「学生の育成活動(京都大学大学院 総合生存学館「思修館」協力講師)など多様な経験から、「成果」と「成長」

を両立する独自のメソッドを確立している。

著書に『京大アメフト部出身、オールジャパン4度選出の組織変革コンサルタントが見つけた仕事でもスポーツでも成長し続ける人の「壁をうち破る方法」』『ひとつ上の思考力』がある。